

3類型	鉦工業品	通巻番号	3 - 21 - 102
地域資源名	本場結城紬、いしげ結城紬	認定日	平成21年6月29日
地域	茨城県県西地域	所管省庁	経済産業省

**事業名:**二千年の歴史を有する結城紬の特性と技術を生かした、  
高級ホームウェア・インテリア用品等の新商品開発と販売

会社名:奥順株式会社

所在地:茨城県結城市結城12-2

連絡先:TEL:0296-33-3111

H P :http://www.okujun.co.jp

FAX:0296-33-3116

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・従来着物、帯などの和装用絹織物として使用されてきた地域産業資源「本場結城紬」「いしげ結城紬」を、現在のライフスタイルに適合する結城紬の新商品として、高級ホームウェア・インテリア用品を開発する。
- ・商品は、新たに広幅生地制作技術を活かし、軽くてあたたかく肌触りの良さなどの特性を活かしたものを開発する。

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### 競争力

- ・奥順株式会社では、70～85cm幅の生地の製作が可能な技術と設備を有しており、本事業を取り組むに当たっては、従来の着物用の生地幅(約38cm)でなく、70cm以上の幅広の生地を活用する。真綿からつむぎだされる紬の広幅商品開発は、全国初の取り組みである。

#### 市場性

- ・伝統的な技術で織り上げた高級ホームウェア・インテリア用品は、快適性に富み、上質感とファッション性を有している。高品質な絹の天然素材である本商品は、従来の着物の購入顧客、富裕層の中高年齢層、30代以上の独身女性を中心として、こだわりを有する層の市場が大きいものとする。

#### 販路

- ・創業102年の中で培ってきた販売チャネル(全国の呉服店など)を活用するとともに、洋服、生活雑貨を扱うセレクトショップへも新規開拓して、直販にも取り組む。

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・結城紬の生産工程上、糸つむぎ手、糸屋、染屋、機屋、整理屋といわれる生産者は結城市・常総市近郊で生産しておりその裾野は広く、地域の連携が不可欠である。製品開発にあたっては、茨城県繊維工業指導所の指導を仰ぎながら地域で一体となり、産地活性化につなげていく。



【結城紬の原料】  
手つむぎ糸(本場結城紬)、真綿



【奥順株式会社が有する  
結城紬広幅織機】



【試作品】広幅生地、ショール生地